

先生各位

新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび新たに下記項目の受託を開始することになりましたので、ご案内申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《受託開始日》 平成 15 年 11 月 4 日（火）受付分より
《検査要項》

検査項目名称	インターロイキン-3
検査コード	5835
検体量	血清 1.0ml
容器・保存	A1 必凍
実施料（判断料）	未収載
所要日数	5 ~ 38 日
検査方法	E L I S A 法
基準値	設定なし
単 位	pg / ml

【解説】

インターロイキン3（IL-3）は活性化Tリンパ球、肥満細胞などから産生される分子量約28kの糖蛋白です。IL-3は、多能性造血幹細胞の増殖を誘導するのみならず、造血前駆細胞に作用して分化を誘導します。しかし、最終的な分化増殖には各々の系統に特異的なサイトカインが必要であると考えられています。

IL-3は型アレルギーにも関与しており、好塩基球の増殖、ヒスタミンの遊離、好酸球の遊走を促進します。

また、IL-3遺伝子が存在する第5番染色体のq(23-31)領域にはGM-CSF、IL-4、IL-5、M-CSF、M-CSFレセプター遺伝子も存在します。ある種の骨髄性白血病や骨髄異形成症候群患者ではこの領域の欠損が認められることから、IL-3などの遺伝子の欠損がこれらの血液疾患の病因に重要な役割を果たしていることが推測されます。